

数日後、俺は水族館にやってきた。

AQUA MUSEUM

男子トイレに移動して、扉をノックする。

はい

女の声で返事があった。
サポしたい旨を伝えると、

まいど、
おおきに

扉の奥から、ハナが現れた。

あ、おっちゃん。
来てくれたんや。
ありがとう

早速ハナに1万円を支払う。

ほな先ずは、
お口でやったげるな

ハナがパクリと、
俺のペニスを口に啜えた。

うふふ、やつぱおつちちゃんのおチンポ、
おつきいなあ。お口の中、ミチミチや

はむ、ねろ、すゆる……っ
ちゅっ、ねろ、ねろあ

まるで子供の様な体温でもって、
俺を一気に昂ぶらせてくる。

ちゅ、ちゅ……っ、じゅ、すゅ、すゅ……っ、
ぬぷ、ぬぽ、んぷ……っ、んぷ……っ！

ひちや
ひちや

はあ、

ん

ちゅっ
ひちや

ハナの、小さな両手が添えられる。
そのままコスコスと、陰茎を撫ではじめた。

んっ……

んっ……
ちゅ……

ん、ん……っ
ん、ん……っ

ハナが亀頭を甘く噛む。
舌で、尿道口をこじ開けてきた。

ひんぱん……っ
ちゅぽ……っ

あ、あ……っ、
臭くなってきた……っ
おチンポの奥から、
ザーメンの匂いや……っ

じゅる、じゅる、ちゅぽ、ん……っ
はむ、あむ、んむ、んむ……っ！

熱い唾液をたらし込み、
射精を誘発させようとする。

は……っ
は……っ

ガレツ

は……っ

ちゅ……っ
れろお

出してっ、おっちゃん……っ
おっちゃんの臭いの、
はむ、んむ、んぐう……っ
ん、ん……っ！
ちゆる、ちゅぽ、ちゅ、
ちゅう……っ、ちゅうううっ！

んう、ふあ、ふあ……っ
ああ、ふうう……っ。
めっちや、臭いよお……

びゅっ…

んんん

そりやそうだろう。
精液は、ハナの顔中を汚していた。

いっばい出てる……
臭くて濃くて……あつついわあ。
ええ……精液やあ……

どうやらハナは、
臭いザーメンが好きらしい。

はむ、ちゅ、ちゅ……
ちゅる、ちゅらら……っ

上気した様な表情のままお掃除フェラをはじめ。
舌を使って、亀頭の精液を舐めとっていく。

ハナの熱い舌の感触に、
俺のペニスは早くも復活し始めていた。

んんん
んんん
んんん

びゅっ
びゅっ
びゅっ